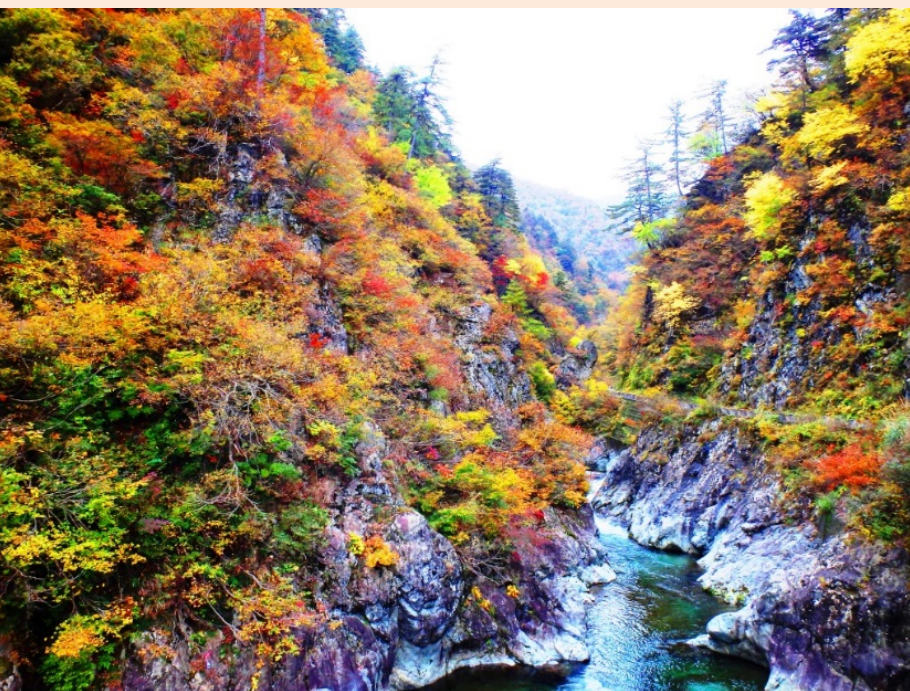


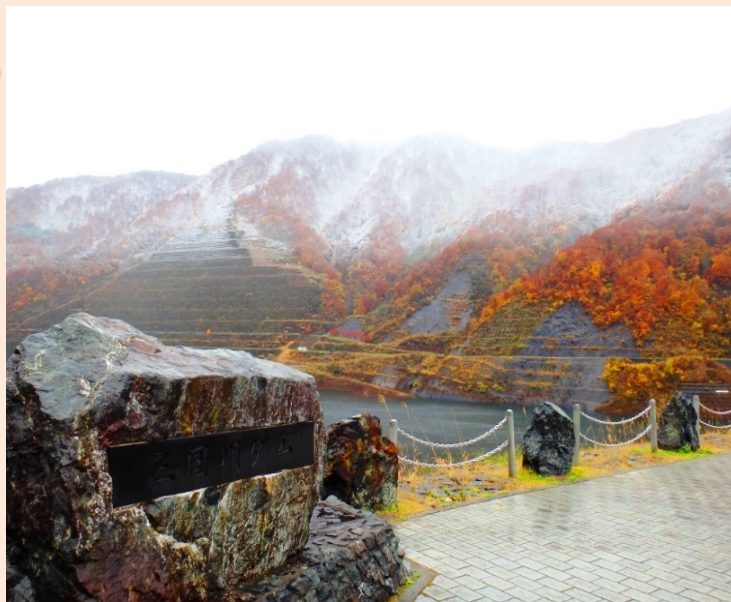


## 色づく大地 ～紅葉特集～

昨年10月中旬から下旬にかけて紅葉がピークを迎えました。ダムの上流にある奥五十沢渓谷（十字峡落合橋）は落葉樹林が広く分布しているため、綺麗な紅葉を見ることができます。写真は昨年10月28日に撮影したもので、渓谷を形成するモノトーンの岩肌と色鮮やかな紅葉のコントラストがとても美しいです。そもそも紅葉とは、木々の冬支度で、越冬に向けて葉を落とす時に、赤色や黄色の色素が際立つ現象です。この神秘的な風物詩を今年も楽しみたいです。



十字峡落合橋（2016年10月28日撮影）



ダム天端（2016年11月09日撮影）

**粉砂糖がかかった!?**  
昨年11月上旬の紅葉が終わる頃に不思議な現象を見ることができました。ダム周辺の山に粉砂糖を振りかけたように、うっすらと雪が積もったのです。三国川ダム付近では、毎年約3～4m雪が積もります。粉砂糖がかかったような初冠雪は私たちに冬の訪れを伝えてくれているようです。

## イベント紹介 ミスベリング



ダム天端で乾杯（2017年7月7日撮影）

日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していくプロジェクト【ミズベリング】の一環として、7月7日午後7時7分に水辺を感じられる場所で全国一斉同時乾杯を行うイベントが開催されました。三国川ダムでも初めて乾杯が行われました。当初は、ダムの職員しか集まらず寂しい乾杯になるかと思いましたが、一般の方も続々参加していただき、計20名で乾杯することができました。天候にも恵まれ、ダム天端を吹き抜ける涼しい風はとても気持ち良かったです。



# ダムっ湖



## しゃくなげ湖まつりを振り返って

今年は7月30日にしゃくなげ湖まつりが開催されました。初めて監査廊（ダムの地下通路）の自由見学を実施し、合計206人のたくさんの方が見学されました。監査廊の自由見学は、自分のペースで見学できるため、皆さんに大好評でした！なかには、ダムの中に住みたいくらいだと感動していたお子さんもいました。



メインステージの様子



しゃくなげ湖探検隊の様子

# 今年の洪水調節を振り返って

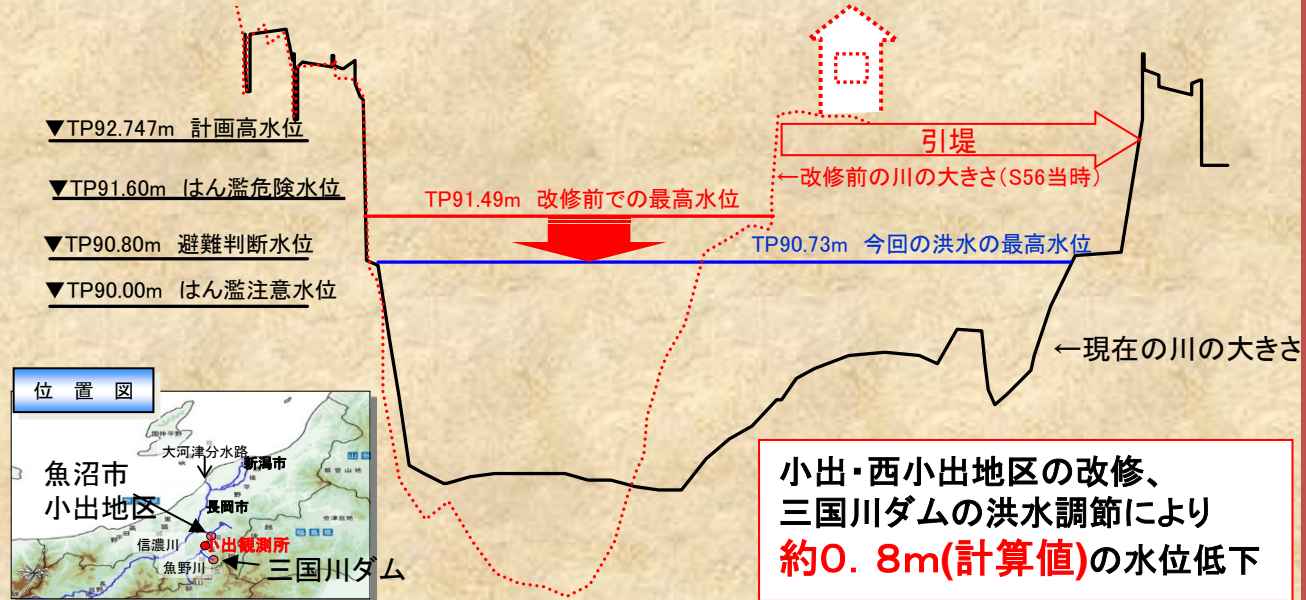
三国川ダムでは梅雨期や台風シーズンである6月から9月までを洪水期間と定め、大雨により洪水（※）が発生した際にダムに洪水を貯め込む防災操作（洪水調節）を行っています。

（※）三国川ダムでは流入量50m<sup>3</sup>/s以上のときの流水を洪水としています。

今年は大雨の発生回数が例年以上に多く、洪水をダムに貯め込んだ回数が昨年の5回を大きく上回る10回にも及びました。中でも魚沼市の三用川（県管理河川）が堤防決壊した7月17日から18日にかけての大雨の際には、三国川ダムにおいて瞬間最大約150m<sup>3</sup>/sの洪水をダムに貯留し、ダム下流の三国川や魚野川の河川水位を低減する効果を発揮しました。

## 魚野川の水位【小出水位観測所(信濃川合流点から13.75k)】

洪水調節及び河川改修がない場合、避難判断水位を超過したと考えられる。



小出・西小出地区の改修、三国川ダムの洪水調節により  
約0.8m(計算値)の水位低下

## ～筆者のコラム～



夏休み中は、小学生がたくさんダムに見学に来ました。自由研究のために熱心にダムを見学している様子を見て、ダム案内を担当して良かったと実感します。これからもダムに興味を持ち、楽しんで見学してもらるように、一組一組丁寧にご案内します！